1 年学年通信　No. 17

豊中市立第十三中学校　　令和 2(2020)年 10 月 12 日（ 月 ）

2 学期中間テストを終えて

テスト勉強計画表は、役に立ちましたか？計画をたてても実施しなければ意味がないですね。

毎日コツコツと勉強をすることが大事です。まずは、1 週間単位で計画を立ててみる。授業で進んだ内容の問題集やプリントを必ず進めていく。など、自分なりの家庭生活の過ごし方を考えてみてください。

各教科の講評をしっかりと読んでください。

この教科は、苦手だ…と決めつけない。

1 日に平日 2 時間、土日に 4 時間ずつ家庭学習をすると 1 週間で 18 時間。

期末テストに向けて、目標を設定して真剣に勉強しましょう。学校での授業を大切にすることで 2 カ月で力がついてきます。自分を信じて勉強の方法を工夫してみましょう。

自分をコントロールする力を身につけよう！

嫌なことから逃げない。

「考動」気持ちと行動をコントロールし、考えて動けるようになりましょう。

講評は、裏に続きます。

～ 中間テスト講評 ～

国語	古文と文法は勉強の仕方が違います。問題を解くには「知識」が必要です。身に付けた知識をもとに問題を読み解きます。「知識」があれば、答えとして何を求められているかがわかります。歴史的かなづかいや昔と今で意味が違う言葉、品詞など復習しておきましょう。 期末も古典や文法が範囲に含まれます。これらの分野の勉強は始まったばかりです。知識の「貯金」は、ほぼ同じでした。国語が得意な人も苦手な人も同じです。もちろん暗記だけでは解けません。勉強のコツは、授業中に発見することです。ただ覚えるだけではなく、言葉のおもしろさに興味をもてると知識の吸収力があがります。 答案の書き方については見直しをしておいてください。句読点や「こと。」「から。」など、注意が必要です。考えて答える問題は一学期より全体的にはよくなりました。ただ白プリの採点はチェック項目の確認ができていない人が多かった。模範解答の採点基準をよく読みましょう。安易に○をつけるのではなく、よりよい答え方を研究しましょう。漢字はまだ字が小さい人、うすい人がいます。一画ずつはっきり書きましょう。「てへん」ははねるようにしましょう。 期末考査に向けて、まずは授業から。
社会	正しい漢字で重要語句を書くようにしてください。中華人民共和国や華人の「華」や紛争の「紛」を間違えて覚えている人、勘違いして書いている人がたくさんいました。あと、記述の問題では問題の意図を読み取り、適切な解答をするようにしましょう。文章表現は難しいと思いますが、授業で学習した内容を正しく理解し、表現を工夫してわかりやすく表記するようにしてください。また、ケアレスミスがないように見直しをしっかりして、解答欄に書かれている語句と重複しないようにしましょう。 一日一日の授業を大切にして、地道にこつこつと復習をすれば、もっと得点につながりますよ。

数学	【テストについて】 数学では、計算問題とそれ以外の問題で、どの程度できているか確認してください。 計算問題である基礎的な力が、まだ苦手だなと感じる人は、まずは計算問題のやりなおしをこつこつ行いましょう。計算の方法がわからないのか、ミスが多いのか、しっかりと傾向をつかみましょう。また大問８以降は、文章を式に置き換える、表や図をみて、式の形で表現する応用的な問題も多くありました。こちらの問題は、授業の中で実際に行った問題や問題集、プリントから出題されました。難易度も高い問題もあったと思いますが、授業の中で、あつかった問題を、理解しないまま進んでいるという事になります。これが続けば、どんどんわらないことの積み重ねが蓄積して、取り返すには多くの時間を要することになります。しっかりと反省と復習をしましょう。それがなければ、テストを受けた意味も薄れてしまいます。今回の結果をしっかりと受け止めて、行動に移していきましょう。 【提出物について】 多くの生徒が提出できていました。 しかしながら、提出のために問題集を提出したという事も見られました。 問題集はあくまで、授業で学んだことの達成を測るものです。答えをみて丸付けをして 提出するだけでは、点数はあがりません。その点が意識できていない人は、次回はしっかりと イメージして取り組みましょう。
英語	【テストについて】 テスト全体を通してよくできていました。 放送問題では、しっかりと内容を聞き取り答えることができていました。中には、放送は聞くことができているものの答える内容を間違えている人が少し多かったです。何を聞かなければいけないのか、何を答えなければいけないのかということをしっかり理解したうえで放送を聞くようにしましょう。 筆記問題もよくできていました。特に表現問題では、ほとんどの人が文章を書くことに挑戦しており、何も書かなかった人が少なかったです。あっているかどうかわからなくても、書くことに挑戦してみることが大切です。今回のテストでできなかった人は次のテストでぜひ挑戦してみましょう。 よくある間違いとしては、be 動詞と一般動詞の使い方の間違いが少し多かったです。be 動詞（is, am, are）と一般動詞をそのまま一緒に使うことはできません。確認しておきましょう。 また、今回のテストでは「全文を書きなさい」という指示の問題がありました。（　）内の単語を並び替えるだけでなく、（　）の外にある単語も一緒に全文を書かないといけません。しっかりと問題文を読み、どのように答えなければならないか、何を答えなければならないかを確認するようにしましょう。

理科	【漢字指定についてなど】 ・　教科書通り、そして漢字プリントで学習した通り書く。今回、ろか→ろ過で表現することを意味していました。濾過などは、教科書にも白プリントにもマイノートにも漢字プリントにも記入されていません。漢字指定の意味を理解しておいてください。もちろん、正しく「濾過」と記入していれば正答です。 ・解答欄の記入場所、記号で記入せず言葉で解答など、ミスが目立ちました。問題の指示にしたがった解答記入を徹底してください。 ・濃度計算問題は、数値を変えて問題を出すとお知らせしていました。今回、正答できなかった方は、必ず見直しをして次回同じような問題は、とけるようにしてください。 【有効数字について】 ・測定結果などを表す数字のうちで、位取りを示すだけのゼロをのぞいた意味のある数字です。メスシリンダーでは、数値の 10 分の 1 まで読み取ります。11 ではなく 11.0 となります。密度の表でも他の数値が小数第２位まで示されていたら、1 ではなく 1.00 です。これからも必要な知識です。理解しておいてください。 【テスト前の提出物について】 ・提出物は、よく頑張っていました。ただ、提出遅れも気になりました。できる限り早めに提出物のお知らせをしているため今後は計画立てて提出できるよう改善お願いいたします。
技術／家庭科	【技術】 材料と加工について出題しました。これから製図、製作をおこないます。今回のテストで勉強したことを、実習でも活かしてほしいと思います。 【家庭】食事の役割についてよく理解できていました。また食品を６群に分ける事もよくできていました。覚えたことを普段の食生活に活かしてください。問題をよく読んで、記号で答えるのか、語句で答えるのかを確認して解答するようにしましょう。また誰が見てもわかる文字、数字で書くよう心がけてください。間違いを消すときも、きれいに消して、解答用紙は自分が書いた解答を「伝える」ものだという意識をもって記入しましょう。